



臨床腫瘍センターだより

第62号 (2014年3月14日発行)



まもなく! 4月1日より!

来月4月1日より、院内・外来を問わず **抗がん剤**を使用するレジメンは全てレジメンシステムへ登録の上施行することとなります。抗がん剤による化学療法を実施されている先生方におかれましては、未登録のレジメンにつきまして、至急の登録手続きをお願い申し上げます。

レジメンシステムを使用する理由と致しましては

- ①誰が指示しても同じ内容の化学療法ができる。
- ②用量の誤りといった重大な危険を回避できる。

現実に入力ミスが院内で発生しています。ご登録くださいました先生方に心より感謝申し上げますとともに、引き続き登録のご案内を申し上げます。事情をご賢察の上ご協力賜れますよう。

尚、登録にあたりましては、月1回開催されるレジメン審査会にて、用量や時間などに関する審査がございます。

◆登録の書式は、電子カルテ[トップページ]から

[各部門] → [臨床腫瘍センター]内 - 化学療法部門からのお知らせ一覧 からご利用ください。

◆登録の方法についてのご質問は … 薬剤部：星葉剤師/PHS6738

ご挨拶 医療ソーシャルワーカー 池田 紀子

この度、臨床腫瘍センターを3月末で退職させて頂くこととなりました。2011年2月の入職から3年にわたり、皆さまには様々な場面でお助け頂き、誠にありがとうございました。沢山のことを教えて頂きましたのに、何もお返しが出来ないまま新しい職場に移らせて頂くこととなり申し訳ございません。前任者の貴重なお働きもあり、病院内の様々な関係者の皆様にソーシャルワーカーの立場を理解頂いており、何かあれば臨床腫瘍センターへ支援依頼を出して頂き、ソーシャルワーカーをご活用頂くという恵まれた環境のなかで、充実した3年間を過ごすことが出来ました。

相談支援センターを、がん患者さんやご家族が、いつでも、どのようなことでも、まずはご相談頂ける場としてご利用頂くためには、ソーシャルワーカーだけの力だけでは不十分で、様々な職種の皆様のお力を頂いての対応でした。特に緩和ケアチーム、地域連携部の皆さんには大変お世話になりました。また上司の石田卓先生には、相談対応で困った時に「自分は相談の専門ではないけれども」と前置きされつつ、真摯なご指導と温かいご助言を下さり心より感謝申し上げます。何よりこの3年の間に、患者さんからそれぞれの生き様を通して、人の尊厳に関わる大切なことを教えて頂きました。現場が変わりましても、その人に寄り添った支援を行っていくことを心がけて参りたいと思います。何かの機会にご一緒することがありましたら、引き続きご指導の程どうぞよろしくお願い申し上げます。お世話になりました、本当にどうもありがとうございました。

2014年2月外来化学療法センター利用状況

血液内科	19	婦人科	33
消化器内科	7	小児科	12
肝胆膵・移植外科	28	泌尿器外科	17
呼吸器外科	10	皮膚科	12
消化管外科	41	リウマチ・膠原病内科	4
乳腺外科	95	内分泌・甲状腺外科	8
呼吸器内科	36	その他	8
			合計 330

臨床腫瘍セミナー

日 時：3月18日(火) 18:00~19:00

場 所：11号館 第2臨床講義室

演 題：Oncofertility

～がん患者の妊孕性温存を考える～

講 師：宮城県立がんセンター 婦人科

部長 山田 秀和 先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。